

平成 30 年度通年（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）千歳市の観光入込状況について

1 概況

平成 30 年度の観光入込客数は、昨年度より 263,300 人（5.0%）減少の 4,977,200 人となった。

市街地地区においては、ホテルの新築などにより宿泊客数が増加したが、9 月以降、北海道胆振東部地震の影響から、外国人観光客の比率が高い観光施設の入込が落ち込んだことにより、315,800 人（7.4%）減少の 3,962,700 人となった。

支笏湖地区では宿泊施設の入込は減少したが、湖畔の入込が増加し、52,500 人（5.5%）増加の 1,014,500 人となった。（表 1 参照）

2 入込傾向について（前年度との比較）

① 「道外客・道内客別」

道外客における市街地地区への入込は 84,700 人（6.7%）減少したが、支笏湖地区は 1,100 人（0.4%）増加した。

道内客における市街地地区への入込は 231,100 人（7.6%）減少したが、支笏湖地区は 51,400 人（7.3%）増加した。

全体としては、道外客数は 83,600 人（5.5%）減少、道内客数は 179,700 人（4.8%）減少となった。（表 2 参照）

② 「日帰り客・宿泊客別」

日帰り客における市街地地区への入込は 329,400 人（8.0%）減少したが、支笏湖地区では 54,900 人（6.6%）増加した。

宿泊客における市街地地区への入込は 13,600 人（9.3%）増加したが、支笏湖地区では 2,400 人（1.8%）減少した。

全体として、日帰り客数は 274,500 人（5.5%）減少、宿泊客数は 11,200 人（4.0%）増加した。（表 3、4 参照）。

③ 「外国人宿泊客延数」

外国人宿泊客延数については、中国が 6,952 人（12.0%）増加し、最も多い。

伸び率では LCC が就航したタイが最も大きく、昨年対比 12,678 人（105.7%）増加となった。

全体としては昨年度に比べ 49,417 人（31.1%）増加し、208,440 人となった。（表 5、表 6 参照）

表 1 観光入込客数

| 区 分 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-------|-------------|-------------|------------|--------|
| 観光入込数 | 5,240,500 人 | 4,977,200 人 | △263,300 人 | 95.0% |
| 市街地地区 | 4,278,500 人 | 3,962,700 人 | △315,800 人 | 92.6% |
| 支笏湖地区 | 962,000 人 | 1,014,500 人 | 52,500 人 | 105.5% |

表2 道外・道内別入込客数

| 区 分 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-------|-------------|-------------|------------|--------|
| 道外客数 | 1,514,100 人 | 1,430,500 人 | △83,600 人 | 94.5% |
| 市街地地区 | 1,256,900 人 | 1,172,200 人 | △84,700 人 | 93.3% |
| 支笏湖地区 | 257,200 人 | 258,300 人 | 1,100 人 | 100.4% |
| 道内客数 | 3,726,400 人 | 3,546,700 人 | △179,700 人 | 95.2% |
| 市街地地区 | 3,021,600 人 | 2,790,500 人 | △231,100 人 | 92.4% |
| 支笏湖地区 | 704,800 人 | 756,200 人 | 51,400 人 | 107.3% |

表3 日帰り客・宿泊客別入込客数

| 区 分 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-------|-------------|-------------|------------|--------|
| 日帰り客数 | 4,961,300 人 | 4,686,800 人 | △274,500 人 | 94.5% |
| 市街地地区 | 4,132,800 人 | 3,803,400 人 | △329,400 人 | 92.0% |
| 支笏湖地区 | 828,500 人 | 883,400 人 | 54,900 人 | 106.6% |
| 宿泊客数 | 279,200 人 | 290,400 人 | 11,200 人 | 104.0% |
| 市街地地区 | 145,700 人 | 159,300 人 | 13,600 人 | 109.3% |
| 支笏湖地区 | 133,500 人 | 131,100 人 | △2,400 人 | 98.2% |

表4 宿泊客延数

| 区 分 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|-------|-----------|-----------|----------|--------|
| 宿泊客延数 | 336,500 人 | 353,800 人 | 17,300 人 | 105.1% |
| 市街地地区 | 179,800 人 | 199,200 人 | 19,400 人 | 110.8% |
| 支笏湖地区 | 156,700 人 | 154,600 人 | △2,100 人 | 98.7% |

表5 外国人宿泊客延数

| 区 分 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 対前年度増減 | 対前年度比 |
|----------|-----------|-----------|----------|--------|
| 外国人宿泊客延数 | 159,023 人 | 208,440 人 | 49,417 人 | 131.1% |

表6 外国人宿泊客延数 ※H30 上位 8 国・地域

| 区 分 | 中国 | タイ | マレーシア | 台湾 | アメリカ | シンガポール | 香港 | 韓国 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| H30 | 64,941 人 | 24,677 人 | 20,045 人 | 17,302 人 | 14,471 人 | 13,541 人 | 13,524 人 | 13,283 人 |
| H29 | 57,989 人 | 11,999 人 | 15,432 人 | 12,121 人 | 9,045 人 | 12,706 人 | 11,219 人 | 12,390 人 |
| 増 減 | 6,952 人 | 12,678 人 | 4,613 人 | 5,181 人 | 5,426 人 | 835 人 | 2,305 人 | 893 人 |
| 前年比 | 112.0% | 205.7% | 129.9% | 142.7% | 160.0% | 106.6% | 120.5% | 107.2% |